

プラスチック製雨水貯留浸透槽

リ・タンスイ システム

技術資料



雨水技評第26号

技術評価認定書

評価認定対象技術：ジオプールAE-1工法

雨水貯留浸透技術評価認定制度実施要項(平成8年6月1日施行)
に基づき審査した結果、上記技術を総合治水対策及び水循環再
生等に寄与する技術と認め、下記のとおり評価認定する。

平成30年4月1日

公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会

会 長 佐藤直良



記

1. 評価認定結果

- (1) 雨水の流出抑制及び雨水利用施設として必要とされる機能を有すると認められる。
- (2) 実用上必要な強度、耐久性を有すると認められる。
- (3) レベル2に相当する地震動において必要な耐震性能を有していると認められる。
- (4) 軽量であり運搬、施工が容易であると認められる。
- (5) 土砂捕捉水透過壁システムにより流入土砂を区画内に堆積させ、貯留槽内への拡散を防止でき、維持管理が容易に行えると認められる。
- (6) 環境への負荷が少ないものと認められる。

2. 評価認定有効期間

自 平成30年4月1日 至 平成35年3月31日
(当初 自 平成24年4月1日 至 平成30年3月31日)

3. 申請者

日東商事株式会社

住所 東京都豊島区巣鴨3-39-4

株式会社日東ジオテクノ

住所 東京都町田市中町1-2-2

株式会社佐藤渡辺

住所 東京都港区南麻布1-18-4

I リ・タンスイの特長

1. 技術評価認定を受けています

- ・リ・タンスイシステム（ジオプールAE-1工法）は、（社）雨水貯留浸透技術協会による技術評価認定を受けていますので、安心してご利用いただけます。



2. 大型車の駐車帯にも対応しています

- ・地上部は、大型車（T-25，最大）通過だけの対応ではなく、駐車もできます。地上部を「大型車の駐車帯」にも利用できる、T-25対応品です。（注）

（注）地上部を大型車駐車帯としてご利用の場合は、舗装構成や車両の積荷状況等に合わせて、許容最大・最小土被り厚を別途計算させていただきます。

3. クレーン車にも対応する高強度を持っています

- ・クレーン車の通行とアウトリガ載荷が、所定の条件下で可能です。その場合は事前にご相談ください。

【ポイント】

- ・供用後、建物の補修等で「足場」を組む場合や、屋上機器の入れ替え、看板工事、樹木の維持管理、台風での倒木等々、「クレーン車」が入り一時的に作業をすることになっても、当貯留槽であれば可能です。（注）
- ・火災時に、はしご付き消防車（T-25以下）の通行や、消火・救出作業もできます。

（注）所定の条件下の場合です。なお、舗装構成がクレーン車の通行や作業に対応していない場合は、当貯留槽に支障がなくても、舗装が損傷することがありますので、予めご注意ください。

4. 地震動に対して十分な強度を持っています

- ・レベル2に相当する地震動に対して、十分な強度及び安全性を有しています。

5. 大容量・低コスト

- ・空隙率93%、低コストです。
- ・壁材等の肉厚が非常に薄いので、最小限の掘削と工期になります。
- ・限られた敷地内に、効率的・効果的な雨水貯留ができます。

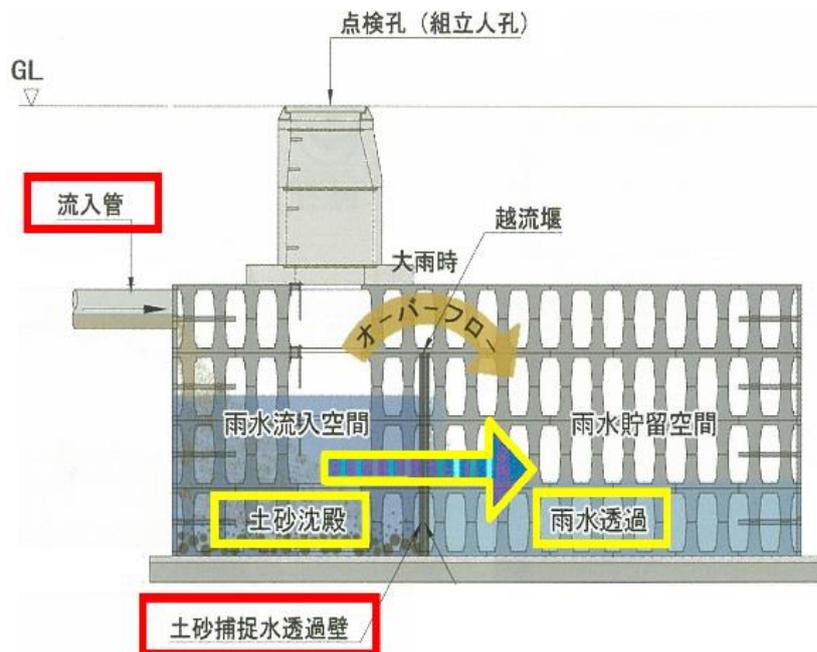
6. 流入雨水中の土砂を分離・捕捉するフィルターが内蔵できます

- ・フィルター壁「どしゃほそく みずとうかかべ土砂捕捉水透過壁」で土砂と水を分離し、土砂を区画内に捕捉できます。
- ・土砂捕捉の効果は、技術評価認定書（(社) 雨水貯留浸透技術協会）で評価認定されています。

【ポイント】

雨水貯留槽の設計では、いつも「雨水と一緒に流入する土砂の対策」が問題になります。

当貯留槽は、その問題を解消できます。その効果は、正式に技術評価認定書で認定されています。



(特許第 5334913 号)

7. 施工が早い、材料搬入・仮置きも容易

- ・一日当たり約 150～250m³ 槽の施工が可能です。工期短縮によるコストダウンが図れます。
- ・工事現場付近の住民対策にも工期短縮効果がうたえます。
- ・当貯留槽の埋戻し段階でも、貯留ブロックが強いので安心して施工できます。

【ポイント】

材料搬入は、大型車でも小型車でも可能です。住宅街の公園や空き地に浸水対策として地下貯留槽を設置する場合、よく問題になるのが「コンクリート二次製品の貯留槽では道幅が狭く材料搬入ができない、材料搬入はできても仮置き場所が狭く施工できない」などです。当貯留槽は、そのような場所でも大丈夫です。

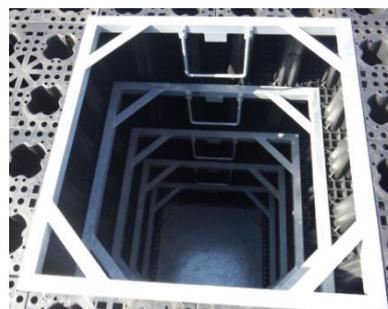
8. 点検孔を自由な位置に付けられます

- ・点検孔は、貯留槽の端部だけではなく、中央部等自由な位置に設置できます。
- ・点検孔は、複数個設置できます。
- ・点検孔の開口も 545mm×545mm や 1090mm×1090mm などが選択できます。



9. 点検孔から槽内部の目視点検が可能です

- ・点検孔から、貯留槽の内部を目視点検できます。



10. 流入雨水を一気に呑めます

- ・流入雨水が一気に貯留槽内に流入してきても、通水断面が大きいので、円滑に雨水を呑み込み、貯留できます。



1.1. 敷地形状に合わせた設計・施工ができます

- ・ブロックの平面配列を変えるだけで敷地形状に合わせて凸凹形にもL形にもできます。



1.2. 地上を有効利用できます

- ・貯留槽が埋設された地上は、賃貸駐車場や、公園、緑地、テニスコート、グラウンド、パークゴルフ場、サッカー場、イベント広場など、多用途に使えます。
- ・貯留槽上の舗装には、大型車（T-25）はもちろん、クレーン車の一時的な通行や作業も可能です。*

※具体的には事前にご相談ください

1.3. 完成後、「環境配慮型」の施設・工事としてPRできます

- ・当貯留ブロック（本体）は、容器リサイクル法の「容器リサイクル材」により作られています。
- ・「環境配慮」をテーマにした建設現場や完成施設では、売り文句に使える貯留槽です。
- ・「地下貯留槽も環境配慮型」として社会・顧客に訴求できます。
- ・エコマーク認定番号：第09131023号

1.4. 自社による責任施工・管理体制なので、安心です

- ・自社により、当貯留槽を材工一式で責任をもって施工いたします。
- ・「材料販売のみで元請け様に施工マニュアルを渡すだけ」の売り切りはしません。

1.5. 賠償責任保険が付帯しますので、供用後も安心です

- ・完成・供用後も賠償責任保険が付帯されます。供用後も安心なメリットがあります。
- ・当社が施工したり・タンスイシステムの瑕疵により、第三者への損害賠償責任が生じた場合に補償いたします。

2. 設計適用範囲

(1) 最小土被り厚

- ・ 50cm (舗装厚さ含む)

(2) 最大土被り厚

- ・ 3.3m (土だけの場合、公園等への適用時)^(注1)

(注1) 土被り内に舗装を含む場合は、舗装厚さにより値が変動しますので別途ご相談ください。

(3) 大型車駐車帯部の土被り厚^(注2)

- ・ 70cm ~ 1.9m (舗装厚さ含む)^(注3)

(注2) ・ 当社算出値

- ・ 地上部を「大型車駐車帯」でご利用の場合は、大型車荷重が死荷重扱いのため、大型車の種類や積荷状況他で許容土被り厚が変動します。別途ご相談ください。
- ・ 大型車駐車帯は、適切な管理の下でご使用ください。

(注3) 大型車駐車帯 (T-25 積荷満載相当) の場合です。

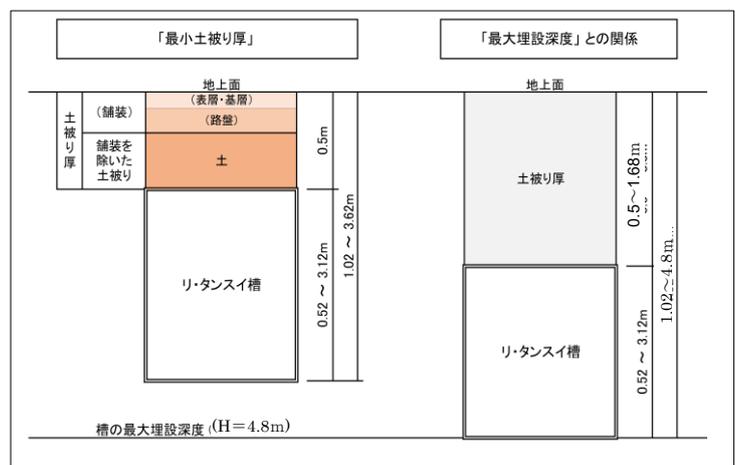
(4) 最大埋設深度：4.8m (土だけの場合です。地下水位がある場合別途ご相談ください)

(5) 最小槽高さ：0.52m^(注3)

(注3) 貯留ブロックは、偶数段が標準です。(貯留ブロック 1 個の高さ=0.26m)

(6) 最大槽高さ：3.12m(12 段)

(7) 地震動：レベル 2 対応



リ・タンスイ槽の 許容土被り厚・埋設深度との関係図